



## 学会開催のご挨拶

特定非営利活動法人 北海道病院協会  
理事長 中村 博彦

北海道病院学会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

北海道病院学会は迎えて18回目となり、当協会の前身である私的病院学会から通算しますと33回を数えることとなります。これもひとえに参加会員施設の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年度は、地域医療構想を含む第7次医療計画の開始、診療報酬・介護報酬の同時改定、国民健康保険運営の都道府県単位化など、社会保障分野において節目の年となりましたが、今年度においては、医師の働き方改革に伴う時間外労働の上限規制に係る制度上の措置や医療法・医師法の改正による医師偏在対策が開始されることとなっております。

また、国では、2025年の先を見据えた2040年の社会保障改革の議論が始まっており、医療・福祉サービス改革では、ICT等の活用やタスクシフティングを担う人材の育成など、現役世代が減少する中で、必要且つ適切なサービスが確実に提供できる体制の実現に向けた検討が進められております。

こうしたことから、今学会においては、テーマを「未来を見据えた地域医療を考える～働き方の検証、人員不足の解消、ICTの活用～」として4名の講師をお招きし、それぞれの専門分野からご講演をいただくこととしております。

また、昨年9月、道民がかつて経験のしたことのない最大震度7を記録する北海道胆振東部地震が発生し、その後の道内全域の停電により、多くの医療機関において停電下での対応を余儀なくされた経験を踏まえ、今学会の特別企画として「医療人として災害にどう立ち向かうのか～災害経験を生かす～」をテーマとしたシンポジウムも開催することとしております。

広域な本道において、将来においても地域医療を守り、また自然災害に備えていくことにより、我々病院関係者が、地域社会を支える一翼を担い続けることができるよう、ご参加の皆さまと一緒に議論を深めてまいりたいと考えております。

本学会の特徴は、病院運営に関わる多くの部門から多岐にわたるテーマで発表が行われ、即臨床現場で応用できる内容が多いことですが、今回もご希望の方々にスライド原稿の提供を行いますので、ご利用ください。

多くの皆様に参加され、実りの多い学会としていただきますようお願い申し上げます。

## プログラム

### ● 一般演題発表

### ● シンポジウム (14:45～17:50)

「未来を見据えた地域医療を考える～働き方の検証、人員不足の解消、ICTの活用～」

#### ■講演

「北海道の地域医療構想」 北海道医師会 常任理事 / 地域医療構想アドバイザー / ささもと眼科クリニック 理事長	笹本 洋一 先生
「National Database から見える北海道の医療提供状況の特徴と課題」 東北大学大学院医学系研究科 公共健康医学講座 医療管理学分野 教授	藤森 研司 先生
「ICTを活用し「治し支える医療」への転換を本格化」 全日本病院協会 副会長 / 社会医療法人祐愛会 織田病院 理事長	織田 正道 先生
「ICT/IoT/5G/AIによる医療・介護・ヘルスケア支援技術動向」 公立はこだて未来大学 システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科 教授	藤野 雄一 先生

### ● 特別企画シンポジウム

「医療人として災害にどう立ち向かうのか～災害経験を生かす～」

#### ■基調講演 (9:00～10:20)

「大災害時の地域医療—東日本大震災時の経験を踏まえて—」 石巻赤十字病院 名誉院長	金田 巖 先生
「北海道胆振東部地震の対応と教訓」 (株)セコマ 広報部 部長	佐々木威知 氏

#### ■パネラー発表 (10:20～11:50)

「災害医療体制と北海道胆振東部地震への対応」 北海道保健福祉部 地域医療推進局地域医療課 兼 医務薬務課 医療参事	人見 嘉哲 先生
「北海道胆振東部地震の医療対応で明らかになった諸課題」 北海道公立大学法人札幌医科大学医学部救急医学講座 高度救命救急センター 教授	成松 英智 先生
「北海道胆振東部地震における災害リハビリテーション活動について」 社会医療法人医仁会 中村記念南病院 診療本部長	光増 智 先生

#### ■指定演題発表 (13:00～14:30)

### ● 委員会企画セミナー

#### ■医療安全管理者有資格者セミナー (9:00～10:20)

「医療安全—最近の動向」 東邦大学医学部 社会医学講座 教授	長谷川友紀 先生
-----------------------------------	----------

#### ■病院機能評価受審(更新)支援セミナー (10:30～11:50)

「病院機能評価の現状と今後の展開」 公益財団法人 日本医療機能評価機構 執理事務	長谷川友紀 先生
---	----------

#### ■病院経営支援セミナー (13:30～14:30)

「財務データで病院経営の実情確認と経営体力分析を試みる」～時代は明らかに転換期、その風を感じてもらいたい～ 石井公認会計士事務所 所長	石井 孝宜 先生
--	----------

### ● 共催(ランチョン)セミナー (12:00～13:00)

#### ■セミナーI (共催:株式会社あかりみらい)

「今すぐできる病院経営の大幅コストダウン対策 ブラックアウトの経験から — 一停電対策、BCPの作り方—」 株式会社あかりみらい 代表取締役	越智 文雄 氏
---	---------

#### ■セミナーII (共催:株式会社日本経営)

「～働き方改革の難関テーマ～同一労働同一賃金の対応策とは」 株式会社日本経営 札幌オフィス オフィス長	田野 佑樹 氏
--	---------

#### ■セミナーIII (共催:大塚製薬株式会社)

「病院連携から考える てんかん診療」 社会医療法人医仁会 中村記念病院 診察本部長 てんかんセンター長	溝淵 雅広 先生
--	----------

# 学会参加要項

## 参加費

- 参加費（発表者、共同発表者も同額です）
  - 会員・賛助会員 7,000 円
  - 会員外 10,000 円
  - 教職員・学生 無料
- 懇親会費 3,000円（ご希望の方のみ）  
事前にお申し込みいただきます。  
当日ご参加の方で、懇親会ご参加ご希望の場合は、  
午前中にお申し込み下さい。  
一般演題座長につきましては、参加費・懇親会費は無料です。
- ランチョンセミナーは整理券制となっております。  
整理券（弁当引換券）は、当日8時より3階の受付で配布します。  
数に限りがございますので、予めご了承下さい。

## 参加申込方法

- 同封の参加申込書により、下記項目をご記入のうえ、FAXでお申し込み下さい。  
事前申込締切は6月28日（金）となります。
  - ① 参加者氏名
  - ② 参加者役職名（例 病院長、看護部長、事務長、技師長、課（科）長、主任 等）
  - ③ 参加者職種（例 医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、理学療法士、事務職員 等）
  - ④ 懇親会の出欠
  - ⑤ 医療機関名
  - ⑥ 医療機関住所
  - ⑦ 申込責任者名（抄録集・参加証の送付先様名）
  - ⑧ 電話番号・FAX番号
- 参加申込書は北海道病院協会ホームページ (<http://www.hoha.jp/>) からダウンロードが可能です。
- 参加費・懇親会費は、同封の郵便振替用紙により6月28日（金）までにお振込み下さい。  
ご入金確認後、申込責任者様宛に、参加証・プログラム抄録集をお送りします。
- 当日の参加も受け付けております。  
学会会場ホテルロイトン札幌3階の当日参加受付へお越し下さい。

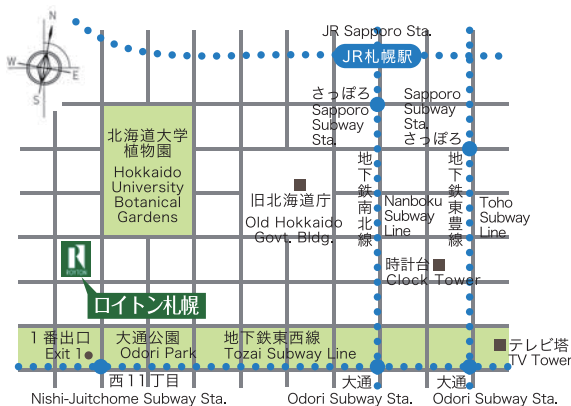
## 一般演題発表者・座長の皆様へ

- 優秀演題の発表は、17時頃、第1会場（シンポジウム会場）のサブスライドに表示します。
- 優秀演題表彰及び副賞授与は、懇親会会場において執り行いますので、受賞者は、懇親会会場にご参集下さい。

## 参加者の皆様へ

- 受付開始は午前7時30分です。
- 事前申込済みの方は、お送りした参加証・プログラム抄録集をご持参下さい。  
「事前申込受付」で参加証ケースと、当日配布資料をお受け取り下さい。
- 参加証がない方は入場できません。
- 懇親会は3階ロイトンホールDにおいて18時より開催します。
- 北海道病院学会では、一般演題スライドのコピーサービスを行っています。  
学会当日、会場前ロビーに原稿を展示しますので、展示コーナーの「申込紙」よりお申し込み下さい。  
後日、コピー（A4サイズ 1ページ6スライド印刷）をお送りします。
- ホテルのクロークをご利用願います。

## アクセス



- 会場の駐車場（有料）は、台数に限りがございますので、公共の交通機関をご利用下さい。

### 地下鉄ご利用の場合

- 地下鉄東西線「西11丁目駅」1番出口より徒歩3分

### JRご利用の場合

- JR札幌駅よりタクシーで約10分
- 地下鉄南北線札幌駅  
「真駒内方面」乗車→「大通駅」下車→  
地下鉄東西線「宮の沢駅方面」に乗換  
→「西11丁目」下車→徒歩3分